

事務事業名	三王山ふれあい公園管理事業		所管部課	建設水道部	都市計画課	
事業目的	下野市総合計画後期基本計画に『うるおいのある緑環境の整備』重点戦略に位置づけ、「自然林と古墳を生かした体験・活動型の公園」として整備しました。従来の市直営ではなく、指定管理者による公園管理を行うことで、維持管理費の縮減をはじめ、民間企業のノウハウの活用や道の駅しもつけ、ふれあい館との連携を強化することにより、利用者の満足を得られるような管理運営を図ります。					
事業概要	【指定期間】 平成30年4月1日から平成33年3月31日まで(3年間) 【主な施設】 オートキャンプ場、ドッグラン、管理事務所、トイレ棟、サニタリー棟 【業務内容】 利用許可、維持管理、自主事業の実施、物品等の管理、安全に関する業務					
総合計画での位置付け	3 施策 1	豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり うるおいのある緑環境づくり	重点事業区分 1	公園・緑地の整備	類型区分 I (積極的推進)	
事業区分	新規・継続	継続	事業の種類	ソフト事業	市裁量の有無	
根拠法令等	都市公園法、下野市都市公園条例及び同施行規則					
補助団体	—					
年度別	事業計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	事業費			指定管理者制度を活用した公園の管理(平成30年度～32年度) ※1年度	指定管理者制度を活用した公園の管理(平成30年度～32年度) ※2年度目	指定管理者制度を活用した公園の管理(平成30年度～32年度) ※3年度目
事業費			36,540千円	36,826千円	37,122千円	
事業内容	対象年度内	【予算】 ・指定管理料 36,286千円 ・人件費 事務費 事業費 光熱水費 管理費 ・修繕料 540千円				
	財源	国県支出金	地方債・その他	一般財源		
その他(過年度実績・特筆すべき点等)	>過年度実績 H29オートキャンプ場使用料…3,015,360円 H30 “ …2,074,770円 ※7月末現在(第1四半期) H29ドッグラン使用料…897,120円 H30 “ …401,100円 ※7月末現在(第1四半期) >他事業との連携 平成30年度は、自主事業である「手ぶらでキャンプ事業」の実施に向け、キャンプベースとなる「ウッドデッキ」の設置工事を実施予定です。 物品販売、自動販売機の増設、企業とのタイアップ催事、道の駅しもつけ及びふれあい館と連携した使用料の割引等を実施しています。 >その他 道の駅しもつけ取締役会等に出席し、情報の共有と意見交換をしています。 【参考】 § 自主事業 § ・物品販売 ・それいけアンパンマンショー ・レモン詰め放題 ・玉葱、ジャガイモ、人参詰め放題 ・ケータリングカー出店					

事業推進方針判断に際しての3つの視点					
必要性	A	○	全て	要件(3項目)	
	B		1以上	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合し、その課題解決に効果がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共関与の妥当性がある <input checked="" type="checkbox"/> 第二次下野市総合計画の施策体系と事業目的に整合性があり、意図する結果につながる	市裁量がない事業(⇒A評価とする)
	C		なし	現総合計画前期基本計画の本施策では、5年間で目指すべき姿を「豊かな自然環境を保全し、市民が安心できる緑・水辺環境づくり」としており、市民に癒しや憩いの場となる緑環境を提供する本事業は、地域における環境共生の観点からも必要性は高いと考えます。 人口減少時代においては、将来にわたり活力ある地域社会を維持していく必要があり、魅力的な公園・キャンプ場・ドッグランの提供により、市民だけでなく、市外からの利用が見込め、定住人口・交流人口の増加を目指す拠点のひとつとして、また、子育て環境の充実や高齢者の健康づくりの場としての活用が図れると考えます。 以上のことから、必要性をAとしました。	
緊急性	A	○	全て	要件(3項目)	
	B		1以上	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与する <input checked="" type="checkbox"/> 事業の休廃止(実施しない場合)の影響が大きい <input checked="" type="checkbox"/> 本事業以外の解決策が見当たらない	市裁量がない事業(⇒A評価とする)
	C		なし	うるおいのある緑環境づくりということで整備した当公園について、安全で快適な公園環境の維持向上が不可欠であり、適切に管理するための本事業の休廃止は考えられません。 また、地方創生の観点からも、地域の魅力を強化することが重要であり、より集客力のある1日中楽しめる公園としていくため、その管理運営において、民間委託の緊急性は高いと考えます。 以上のことから、緊急性をAとしました。	
効率性	A	○	3以上	ソフト事業(要件:7項目)	ハード事業(要件:3項目)
	B		1以上	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の質を維持しつつ、事業費の削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 同種・同目的事業との統合や簡略化を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正であり適正である <input checked="" type="checkbox"/> 市民との協働で事業を実施している。あるいは実施できる	補助金等の積極的な活用で最大の成果となる方法を選択している 事業目的に見合う最適な事業規模である 他事業との重複がない
	C		なし	<input checked="" type="checkbox"/> 他自治体で実施されている水準と比較して適切である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等において、現在の取組手法から、さらに効率性を図ることは困難である	
本事業では、公園管理運営について指定管理者制度を導入しており、民間ならではの工夫・仕掛けにより多くの利用者呼び込み、また、自主事業による収入増を図るなど指定管理者の活動範囲を広げることで、今後の市の経費抑制などにつながる方法をとっていることから、効率性は高いと考えます。キャンプ場利用者が、隣接のふれあい館の温浴施設やプールを利用する場合の使用料を割りきするなど、両施設にとって利用者を増やすための仕掛けが見られます。以上のことから、効率性をAとしました。					

総合評価	
○	継続実施
	見直し実施
	廃止

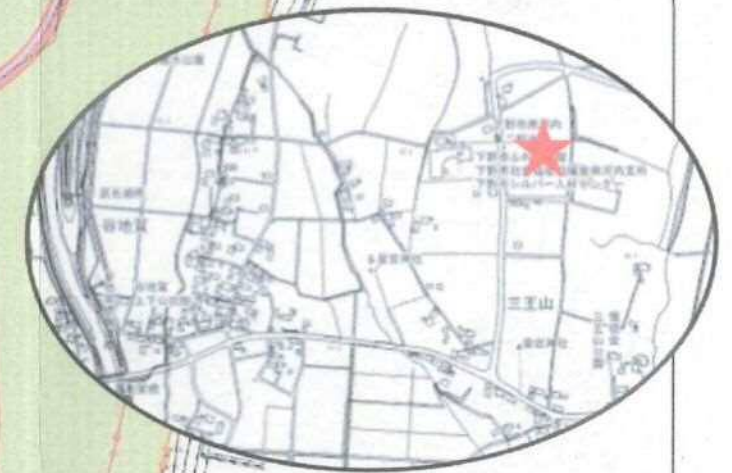
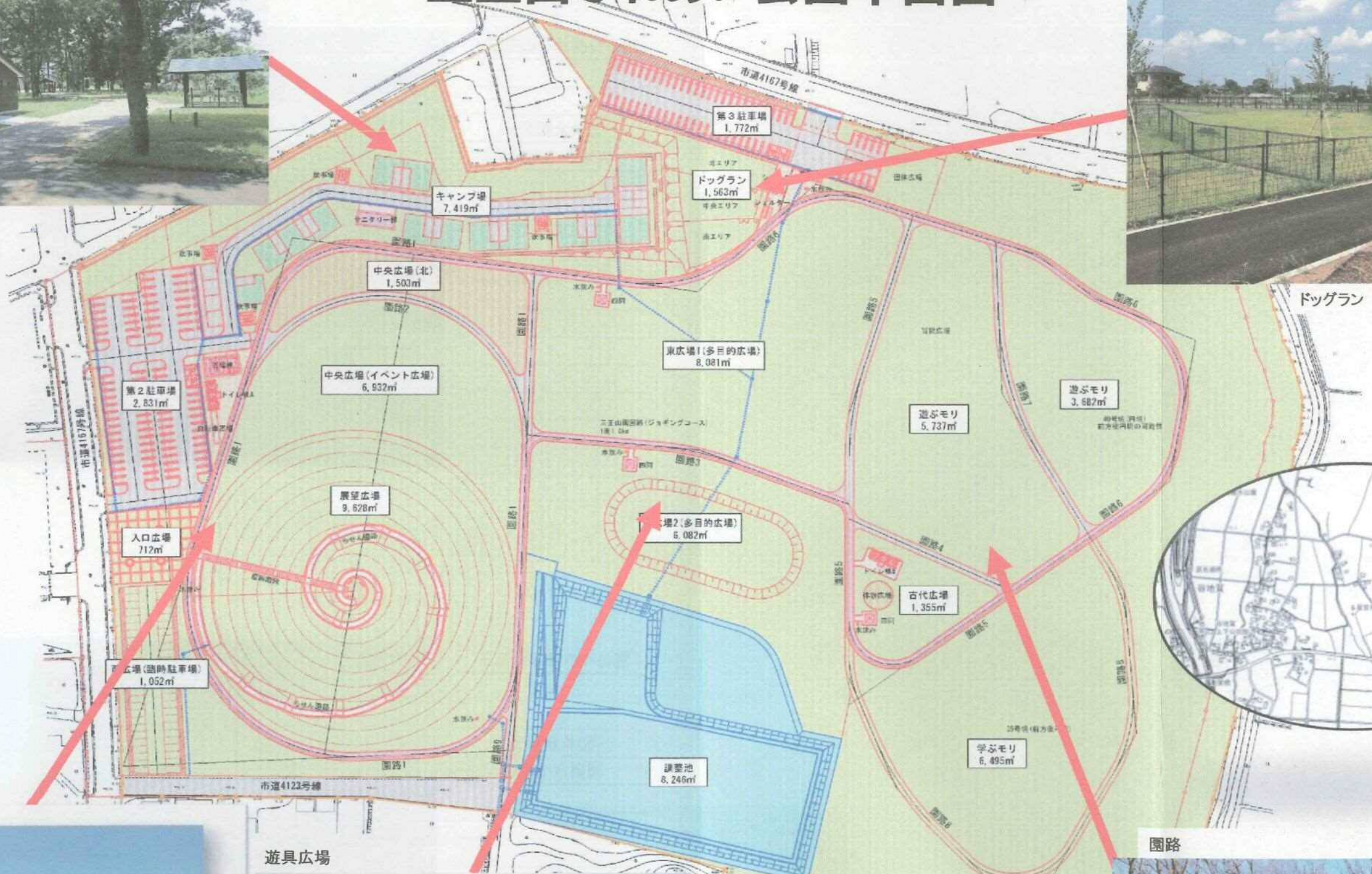
三王山ふれあい公園平面図



オートキャンプ場



ドッグラン



入口広場・展望広場



遊具広場



園路